2010-11年度 No.25

BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS

Weekly Report

RI会長テーマ 地域を育み、大陸をつなぐ　クラブ会長テーマ 明るく、楽しく、元気に、奉仕・親睦

東北関東大震災

東北地方の三陸沖で3月11日午後2時46分、マグニチュード9.0という国内観測史上最大の地震が起きました。この地震による死者・行方不明者は2万人を超えました。

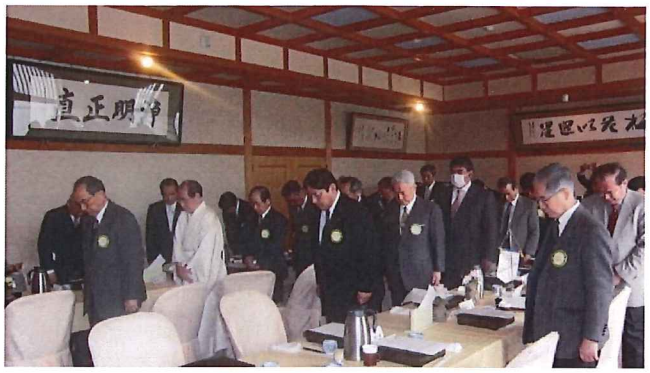
また、東京電力福島第一発電所では、火災や爆発を起こして放射性物質が漏れ出したため、近くの住民が避難しています。地震とそれに続く原発事故で、日本はいま大きな危惧に直面しています。

東京は震度5弱でしたが、近年経験したことのない大きな揺れに人々は震え上がりました。

地震発生後は鉄道各社が一斉に運行をストップし、多くの帰宅難民が出ました。また、その後の計画停電で交通機能がマヒしたために、連日通勤難民が都心部にあふれ、地震の影響は東京をも直撃しました。

直接被災の影響に加え、物流網が滞っていることが原因で、国立市でもガソリンや日用品、食料品の品不足が続いています。また、電力不足による計画停電も実施されて、やむなく休業する商店も多くあり、経済的にも大きな影響が生じています。

当クラブでは3月16日開催の第2039回例会の点鐘時に、この度の震災で犠牲になられた方々の冥福を祈って黙とうを捧げました。同時に国際ロータリー第2750地区からの要請で義援金を募り、被災地への支援に協力しました。



▲震災で亡くなられた人たちの冥福を祈って黙祷

この日の例会では、SAAがリードして節電に協力。照明を下げ暖房を止めました。例会中も余震とみられる揺れがあり、緊急地震速報におびえる日々が続いています。

ところで、1923年9月に発生した関東大震災のとき、世界30カ国、503ロータリークラブから、89,000ドルの援助金が寄せられました。東京ロータリークラブはそれを被災地区に配分し、また、一部は基金として、被災孤児の育成資金に運用するなど、世界中のロータリアンの好意に応えました。国際ロータリー加盟わずか3年の日本に寄せられた援助活動で、日本人はロータリーの本質を知り、各地にロータリークラブが誕生することになりました。

今回の震災でも世界各地から支援の申し込みがありました。また、救助活動や原発事故の復旧に注目が集まっています。地震、津波、原発、停電、品不足など、日本は戦後最悪の国難に直面しています。しかし、日本国民はこれまでにも、幾多の困難を乗り越えて経済大国に成長してきた実績があります。今こそ国民一体となって復興に努めなければと、心を新たにしました。

R.I.第2750地区　多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ
会長：三田 浩一　幹事：松本 保夫
例会日：毎週水曜日　例会場：谷保天満宮社務所2階東京都国立市谷保5209　TEL042-576-5123
事務所：東京都国立市中1-9-36　KKビル4F TEL：042-575-0770 FAX：042-572-8666
E-mail:kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp URL：http://www15.ocn.ne.jp/~kuni-rc
会報委員：岡本貞雄　佐藤勝則　大塚清一郎

第 2039 回例会

日　　時：平成 23 年 3 月 16 日

会　　場：例会場

司　　会：SAA　　五十嵐委員

開会点鐘　　三田会長

斉　　唱　ロータリーソング「奉仕の理想」

お客様の紹介　　三田会長

藤田　誠様（東京立川こぶし RC）

会長報告　　三田会長

●東日本大地震災害義援金について

地区ごとに義援金を募り、ガバナー会議長・副議長と被災地区の各ガバナーとで協議の上、被災各地に配分する予定です。ご協力をお願いいたします。

●ローターアクト年次大会のご案内

日　時　4 月 16 日（土）　15 時

場　所　青山学院大学　青山キャンパス

登　録　3/31 まで

●日台ロータリー親善会議のご案内

日　時　6 月 10 日（金）14 時

場　所　ホテルグランヴィア京都

登　録　4/10 まで

●東京米山友愛 RC 創立 1 周年記念例会のご案内

日　時　4 月 24 日（日）12 時

場　所　ホテルニューオータニ

登　録　3/31 まで

●地区ロータリー財団部門全体研修会のご案内

日　時　4 月 7 日（木）14 時 30 分

場　所　ハイアットリージェンシー東京

出席者　村上世界平和フェローシップ委員

●ロータリー・リーダーシップ・インスティチュート開催のご案内（田中作次 RI 会長ﾊﾐﾆｰ特別ご参加・南園義一元 RI 理事のご講演）

日　時　4 月 26 日（火）　8 時 30 分

場　所　国立オリンピック記念青少年総合ｾﾝﾀｰ

登　録　4 月 14 日まで

幹事報告　　松本幹事

第 50 回クリーン多摩川くにたち 2011 年 3 月 13 日（日）参加いただいたかた、ありがとうございました。

ニコニコ BOX　　木島親睦活動委員

●三田会長　同級生の遠藤吉次様の卓話を楽しみにしておりました。国立の自然と文化を守る会会長ご苦労様です。私も一応会員です。

●津戸会員　先に私の昇給祝賀会開催のご通知申し上げましたが、非常事態に鑑み中止と決定いたしました。謹んでおわび申し上げます。遠藤吉次さん卓話楽しみにして居ります。

●井上会員・杉田会員・岡本貞雄会員・石塚会員・近藤会員　国立の自然と文化を守る会の遠藤会長の卓話を期待します。遠藤会長は、谷保天満宮拝殿の天井書画の概略を 2 回にわたって「守る会」の会報で発表され、その学識の深さに感服いたしております。

●宗村会員　自然を大切にと活躍しておられる遠藤吉次会長、本日の卓話ありがとうございます。

●秋廣会員　今日の卓話の講師であられる国立の自然と文化を守る会会長の遠藤吉次さんの貴重なお話、期待しております。あわせて大塚会員の危機管理のお話も興味深く聞かせて頂きます。

●伊東会員このような居りに国立の自然と文化を守る会会長遠藤吉次様にはありがとうございます。このような時こそしっとりとした谷保の昔の話を拝聴し心を落ち着かせるのも、よいのではないでしょうか。

●北島会員　私事でございますが、3 月 31 日より 4 月 7 日まで「櫻さくら桜展」をさくら通り突き当りのアートスクエア櫻文堂で開催予定です。さくらをテーマにした絵画、写真展です。昨今このような社会情勢ですが、入場無料ですので、是非会員の皆様の御来場をお待ちしております。

●社会奉仕委員会（遠藤直孝会員・小川会員・荘原会員）先日のクリーン多摩川には大勢の会員の皆様にご参加をいただきありがとうございました。我クラブの受持ち場所は緑川出口あたりでしたが、気合十分の我々は立川地区まで越境しての清掃活動により、多くの成果をあげることができました。本日の遠藤吉次さんの卓話、楽しみにしております。

●親睦活動委員会（本間会員・木島会員・北島会員）　東北・関東大震災に被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。遠藤吉次様の卓話楽しみにしております。

ニコニコ BOX　合計 33,000 円　累計 1,063,000 円

出席報告　　時田出席委員

3 月 16 日　在籍 50 名中 出席 37 名
前々回（3 月 2 日）の　出席率 100%

閉会点鐘　　三田会長

卓話 TABLE SPEECH

上下谷保村とその境界

国立の自然と文化を守る会
遠 藤　吉 次 会長

■講師紹介　　伊東プログラム副委員長

遠藤さんは、谷保のお生まれで、早稲田大学文学部をご卒業後、府中市郷土の森博物館の学芸員を長らくお勤めになられました。６年前から自然と文化を守る会の会長になられました。当クラブにも守る会の会員たくさんいます。会報を年に 3～4 回出していて、最近では谷保天満宮の拝殿の天井画についての遠藤会長の論文がありました。いつも会長のお持ちになっている見識には驚かされ、会報を楽しみしています。

■はじめに

国立市の旧谷保村は、甲州街道に沿い東西に連なる集落の中、立川に隣接する青柳・石田地区を除いた集落ですが、江戸時代においては上谷保村・下谷保村の２つに分かれており、両村は行政的には全く別な村でした。

一般に、両村の境界は仮屋坂とそれに沿って流れる細い水路とされ、その西側が上谷保（千丑地区）、東側が下谷保（坂下地区）となっています。

ところが古い資料を見ますと、千丑・石神といった上谷保に属する地区にも下谷保村の家が点在し、坂下地区以東の下谷保にも上谷保村の家が少なからず混じっており、両村の境はどうもはっきりしません。古い記録を繙き、この辺の事情を調べてみました。

■谷保の集落

この谷保地区には、下谷保や四軒在家の古墳群を見てもお分かりのように、古代より集落の跡が確認されており、古くから人々が居住していましたが、「谷保」という名が記録に表れるのは鎌倉時代後期の弘安３年（１２８０）の金沢文庫文書といわれます。

その後の推移は不明ですが、江戸時代の初期の調査では谷保村は村高が７８５石余となっており（『武蔵田園簿』）、既にかなり大きな集落を形成していたようです。

江戸時代前期は積極的に新田開発が行われた時代で、谷保村も開発が進んだようで、延宝６年（１６７８）に実施された検地の結果、村高は『国立市史』の計算では１６４８石余と大幅に増加しています。

■谷保村の分割

この当時、１５００石を越える村高を持った村はあまり見当たりません。当時の通信・交通を考えると、あまり村が大きいと十分な管理が行き届かなかったのかも知れません。恐らくこの検地の結果を踏まえてのことと思いますが、その５年後の天和３年（１６８３）に谷保村は上下２か村に分割されます。

上谷保村が１１０３石余（６９％）、下谷保村が４９５石（３１％）という偏った分割で、やはり谷保天満宮が分割の規準になったように思われます。恐らくそれ以前から天満宮を境に、上（西）と下（東）に漠然と集落が２つの塊に分かれていたのではないでしょうか。

この上下谷保２か村体制は、このまま実に１９２年間つづき、両村が合併したのは明治８年（１８７５）になってのことです。そして同２２年（１８８９）になり、市制町村制に基づき隣接する青柳村と石田村飛び地を合併し北多摩郡谷保村となりました。その後はご存じのように昭和２６年に国立町となり、昭和４２年４月に国立市となっています。

■両村の村境

さて上下谷保村の境界ですが、江戸時代の地誌（『新編武蔵風土記稿』）にも、「両村は土地が犬牙しており区別できない」とありますように、境界線をひくことはできません。それは現存する当時の屋敷割り図をみても確認できます。

たとえば、上谷保の石神地区に居住する西野家や千丑地区の小澤家・遠藤家はいずれも下谷保村の村民で、しかもこれらの家では下谷保村の名主さえ務めております。どうしてこうなったのかはよく分かりません。

ただ、分割の約３０年ほど前の慶安年間、水田中を通っていた甲州街道がハケ上の現在地に移動しております。これにともない、ハケに沿って連なっていた集落が新しい街道沿いに移住しています。これにより家並みが入り交じり、しかも分割の際に、新しい居住場所ではなく、それぞれもとの出身地区の所属する村に帰属したため、こういう状態となったものと思われますが、あくまで推量の域を出ません。

最悪の事態に対しての危機管理

大塚清一郎会員は現役のとき、中曽根内閣の内閣危機管理室に3年間在籍したことがあります。
そのときに学習した、災害時の自己管理のノウハウを話していただきました。

■最悪の事態に備えて、あらかじめ準備しておく。
しかし、過剰反応（パニック）は要注意。

1. 最悪の事態に対して悲観的に準備をしておく。ただし、対応する時にはできるだけ楽観的に。
2. 悪いニュースこそ最初に隠さずに迅速に伝達する。重要な緊急な情報は発信主義ではなくて、到達 主義でやっていただく。
   例「メールを出しましたが読んでいただけましたか」ではなく、できれば電話で声で伝える。
3. 修羅場になればなるほどユーモアを忘れずに。
   （リラックスをして、余裕をもって、できればユーモアの精神で対応をする）

■この状態が長く続くと思われます。
ストレス管理が大事です。

1. 家族みんなで、何か楽しい事をする。
2. １日１回は、家族の誰かがジョークを言って笑い合う。
3. 悲惨なニュースは、できるだけ見ない。
   自分たちで心を管理する。
   悲惨な津波のニュースを繰り返し見ていると、人によっては「うつ」になってしまう。

■外国の友人から
たくさんのメールや電話がきています。

日本はすごい。こんな大震災の元でも冷静に対処している。数年前のアメリカ・ニーオーリンズのハリケーンの時には、放火・略奪がひどかった

日本人は、こういう危機の時に結束して対応していける民族です。時間はかかると思いますが、今こそわれわれ日本の底力を発揮して対応していくことになると思います。ロータリースピリットでお互いに助け合いの精神で、頑張っていきましょう。

元気の出るつぶやきメール

●ディズニーランドでの出来事

ディズニーランドでは、ショップのお菓子なども配給された。ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらってて「何だ？」って一瞬思ったけど、その後その子たちが、避難所の子供たちにお菓子を配っていたところ見て感動。子供連れは動けない状況だったから本当にありがたい心配りだった

●国連からのメッセージ

国連からのコメント「日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。」 に感動した。良い事をしたら戻ってくるのです。これがいい例な のです

●渋滞した交差点での出来事

一回の青信号で１台しか前に進めないなんてザラだったけど、誰もが譲り合い穏やかに運転している姿に感動した。複雑な交差点で交通が５分以上完全マヒするシーンもあったけど、１０時間の間お礼以外のクラクションの音を耳にしなかった。恐怖と同時に心温まる時間で、日本がますます好きになった。

●ディズニーシーにて

ディズニーシーに一泊した娘、無事帰宅しました！キャストのみなさんが寒い中でも笑顔で接してくれて不安を感じることなく過ごせたそうです。防寒のカイロやビニール袋、夜・朝の軽食と飲み物、おやつまで。ディズニーの素晴らしさに感動です。頑張ってくれたキャストさん、ほんとにありがとう！！

●コードネーム

米軍の日本救援のコードネームが Operation Tomodachi。感動した。いちいち発表しないところも。被災地での活動よろしくお願いします

●放送事故

NHK の男性アナウンサーが被災状況や現況を淡々と読み上げる中、「ストレスで母乳が出なくなった母親が夜通しスパーの開店待ちの列に並んでミルクが手に入った」と紹介後、絶句、沈黙が流れ、放送事故のようになった。すぐに立ち直ったけど泣いているのがわかった。目頭が熱くなった。

●電　車　駅員さんに「昨日一生懸命電車を走らせてくれてありがとう」って言ってる小さい子達を見た。駅員さん泣いてた。俺は号泣してた。